

# 原子力 広報

No.51



【問合せ】＝本庁原子力安全対策室  
原子力安全対策グループ Ⅳ(23)5111(内線4632)

## 川内原子力発電所見学会

参加者  
募集

市では、原子力発電およびエネルギーに関する知識を深めてもらうことを目的に、川内原子力発電所の見学会を次のとおり開催します。原子力発電所の安全対策や私たちの生活にとって切っても切れないエネルギーについて考える一つのきっかけとして、ぜひ参加ください。  
\*この事業は、国からの広報・調査等交付金を利用しています。

- 【時】11月18日(土) 9時30分～11時30分
- 【集合場所】川内文化ホール前および樋脇・入来・東郷・祁答院の各支所
- \*集合場所までは各自で、見学先までは貸し切りバスを使用
- 【見学先】川内原子力発電所(久見崎町)
- 【対象】川内・樋脇・入来・東郷・祁答院地域の方
- \*ただし、18歳未満は保護者同伴
- 【定員】40人
- \*定員になり次第、締め切り
- \*最小催行人員10人
- \*参加無料
- 【申込締切】11月6日(月)
- 【申込方法】直接、電話
- 【当日必要なもの】大人は顔写真付きの身分証明書(マイナンバーカード・住民基本台帳カード・運転免許証・パスポートのいずれか)、18歳未満は、マイナンバーカードまたは保険証
- 【申込・問合せ】本庁原子力安全対策室(原子力安全対策G(内線4632))

## 報告 夏休み親子見学会

8月4日(金)、川内・樋脇・入来・東郷・祁答院地域の小・中学生とその保護者を対象とした「夏休み親子見学会」を開催しました。延べ16人が参加し、川内原子力発電所・展示館および鶴田ダムを見学しました。

同展示館では、川内原子力発電所の概要と安全対策についてビデオ鑑賞をした後、発電所の実物大の模型などを見ながら、発電の仕組みや放射線に関することなどを学びました。

次に、発電所構内をバスで巡り、発電所の安全対策のための資機材を配備してある緊急用保管エリアや海水ポンプエリアの津波対策の状況などを確認したり、構内にある原子力訓練センターで、発電所職員の訓練を見学したりしました。

その後、水力発電を行っている鶴田ダムへ向かいました。平成18年7月の豪雨の影響を踏まえた再開業事業など施設の説明を受けたあと、歩いてダム堤内などを見学しました。



### 「参加者の声」

**子ども**  
● 原子炉建屋では、真剣に運転操作訓練をしていた。全部マスターするには10年もかかるというのにびっくりした。

**保護者**  
● 思っていた以上に厳重に管理されていることが分かった。それでも、地震などが来ると不安だ。もっと多くの人が参加したらいいと思った。

## 川内原子力発電所運転状況など

川内原子力発電所の運転状況は、次のとおりです。  
\*九州電力(株)からの提供資料を基に作成しています。

### ●発電所の運転状況(1・2号機)

		平成29年					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月
1号機	1/6 通常運転復帰	出力89万キロワット	営業運転開始/昭和59年7月				
	通常運転						
2号機	出力89万キロワット	営業運転開始/昭和60年11月					
	定期検査		3/24 通常運転復帰				

### ●発電電力量(1・2号機合計) 平成29年6月分

発電電力量の合計	約13.5億kWh	設備利用率	105.5%
----------	-----------	-------	--------

\*設備利用率: 発電電力量÷(認可出力×暦日時間)×100  
\*定格熱出力一定運転導入(平成14年)により、設備利用率が100%を超えることがあります。この「定格熱出力一定運転」とは、原子炉から発生する熱量(原子炉熱出力)を国から認められた最大値付近で一定に保って運転する方法で、海水温度に応じて電気出力は変化します。

### ●低レベル放射性廃棄物(気体)1・2号機合計

平成29年4月1日～6月30日

放出量	検出限界値以下	年間放出管理目標値(参考)	1.7×10 <sup>15</sup> ベクレル
-----	---------	---------------	---------------------------

\*目標値内であり、適切に管理されています。

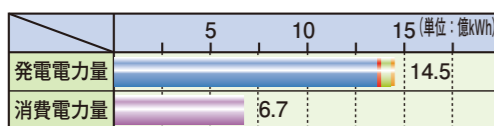
### ●低レベル放射性廃棄物(固体)1・2号機合計

平成29年6月30日現在

貯蔵量	24,689本	貯蔵率	66.7%
-----	---------	-----	-------

\*1本当たり200Lドラム缶相当 \*貯蔵容量 約37,000本

### ●県内の発電電力量と消費電力量(平成29年6月分)

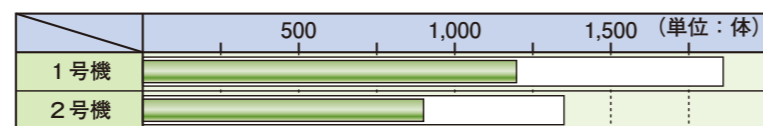


(発電電力量内訳) (単位: 億kWh)

原子力 13.5	地熱・風力 0.2
火力 0.5	水力 0.2

\*四捨五入の関係上数値が合わない場合があります。

### ●使用済燃料の貯蔵状況(平成29年6月30日現在)



	貯蔵容量	貯蔵量		計	貯蔵率
		使用済燃料	再使用燃料		
1号機	1,868体	1,160体	16体	1,176体	63.0%
2号機	1,356体	833体	29体	862体	63.6%



【申込・問合せ先】本庁防災安全課防災G(内線4922)



市では、原子力防災DVD「こんな時どうする?」(原子力災害、知っておきたい「準備」と「対応」)(薩摩川内市版)を制作しています。  
このDVDは、万が一の原子力災害に備え、普段から知っておくべき「準備」と「対応」について親子が専門家に聞くという構成で作成されています。  
また、放射線・放射性物質の基礎知識などの資料編もあり、一般の方はもちろん、子どもにも分かりやすい内容となっています。市内の幼稚園、保育園、学校、地区コミュニティ協議会などにも配布しています。また、貸し出しも行っていますので、ぜひ、活用ください。

「原子力防災研修DVD」を貸し出します